

令和1年度 自己評価総括

①環境・体制整備・業務改善

男性職員が増員し、以前からの正規職員の勤務が維持できている為、性別や年齢等限らず、支援体制の安定性を確保することが出来ています。また、活動内容の選択肢も増え、臨機応変に対応することが出来ます。前回の評価実施時に現職員体制が不明瞭な保護者様もいた事に対しては、口頭だけでなくホームページなどの案内などを行ないましたが、今後も、よりオープンにしていきたいと思えます。

事業所の設備等は、老朽化に伴いスヌーズン室の使用を停止していました。改修予定でありますので完了次第、対応したいと思います。また、家電等の備品も新しい物を導入した為、効率良く運営することが出来ています。

事業所内では研修への参加や他事業者との交流等を行うことで職員の資質の向上を行いました。更に資質の向上を行っていこうと思えます。

②適切な支援提供

活動プログラムは、保護者様と連携し個別支援計画を作成・説明し行っています。また、個別や集団を利用だけでなく、性別や異学年等様々な利用者同士の交流を取り入れる等、個々に合わせて行っています。活動プログラムも固定することはありませんが、安心して利用できる環境づくりも意識して行なっています。この度も利用者様が異学年との交流や屋外活動などを楽しみに通所されているという意見も多くいただきました。また、自社系列の事業所との連携も図り、様々な視点からの支援につなげていければと思えます。

しかし、保護者様からは支援内容や利用者様の様子などより具体的に知りたいという要望があったので、個別支援計画の説明時や送迎時だけでなく、要望に応じて伝える方法なども検討していきたいと思えます。

③関係機関や保護者との連携・説明責任等

保護者様や関係機関等と連携し個別支援計画を作成・説明し行っています。また、協議会や担当者会議等に参加する中でも情報共有や連携を行っています。連携内容も紙面等でデータ化し保存し、事業所全体で把握していきたいと思えます。

しかし、限られた機会しかない為、今後は日々の相談なども行えるように機会を設け、関係機関や保護者様と更に密な連携を作っていきたいと思えます。

④非常時等の対応

事業所が洪水浸水想定区域内に所在している為、水防法に基づく避難確保計画の作成・報告を行っています。また、苦情対策を見直しマニュアルの改訂を行い、職員も再確認を行いました。様々なご意見に対応していこうと思えます。